



夏の学び ～今の自分から一歩、前に踏み出す

夏季休暇は40日ほどあります。部活動に励んだ生徒、校内の様々な講習や校外講座で学んだ生徒等、多くの学びと経験があったに違いありません。今年、校内では、通常の教科の講習に加えて、フランス語、ドイツ語、ダンス等といった講座も設定され、総合学科らしい学びを生徒に経験させることができ、うれしく思っています。担当の先生方に感謝の気持ちで一杯です。

学校の学び以外でも、生徒がよく取り組んでいるということ、先生方から教えていただきました。という



のも、1,2年次生は夏の学びについてクラスで発表をしているので、生徒の様子分かるのです。その中で、生徒が外国に行って異文化体験をしているという話を聞き、3人の生徒から様子を聴きました。グアム家族旅行の際、現地の学校で一日過ごすことを自らお願いして実現させた生徒。イギリスで親戚の方の家で過ごしなが、語学学校で他国の若者と親交を深めた生徒。短期留学を業者に頼ることなく、ホームステイ先・語学学校・旅程まで自分で交渉し組んで1ヶ月を過ごした生徒。3人の生徒は異文化体験をした自身の経験を話しながら、今までの自分から1歩踏み出していることを自覚しているようでした。

3人のうちの1人、2年次生の磯部さんに自分で切り開いた短期留学の経験を、9月22日の全校集会で話してもらいました。英語の先生の勧めで、英語で原稿を作り、全校生徒の前で堂々と英語のスピーチを3分間行いました。英語力の乏しい私には内容がうまく聞き取れなかったもので、後日、磯部さんに英語スピーチ原稿と日本語訳をもらいましたので、磯部さんの了解を得て、日本語訳の一部を紹介します。

「私は一ヶ月間、お友達とアメリカのサンディエゴに行きました。英語の勉強のためと世界中に友達を作りたかったからです」「私はアメリカの授業を受けてみて、良いことを2つ見つけました。まず1つは遅刻したら、たとえ5分でも教室に入れないこと。2つめは先生達はいつも生徒に『理解できる?』と聞きます。『はい』と言ったら『じゃあ説明してみて』とさらに

聞いてきます」「私のクラスにはブラジル人、サウジアラビア人、スイス人の人がいました。私はうまく英語を話すことができなかった所以他们にすごく助けられました。将来、英語を話すことができるようになったら、私のような人々を助けてあげたいと思いました」磯部さんが学んだように、他の生徒の皆さんにも、「英語を通じて外国の方と気持ちを通わせ、英語を通じて助けられ助けること。英語が人と人をつなげ、世界を広げるツールとなること」を知ってほしいものです。

第1回 学校説明会～清涼な好天のもと開催～

10月18日(土)に本校の第1回学校説明会と体験授業が実施されました。爽やかな秋空のもと、500名弱の方のご参加をいただきました。

本校生徒のボランティアスタッフ20名が、学校紹介や受付、そして学校案内に大活躍でした。私は、スタッフ生徒に「来場された方は、何よりも生徒の姿を見に来られるよ。誇りを持って、精一杯の思いやりを持って、お相手をしてください」と伝えたのですが、生徒の様子を見ていて、私の思いは通じていたように感じました。

今回は、参加者の方のお出迎えの部分で担当の先生方が工夫をしてくれました。女子バスケットボール部員が元気のいい声で、お出迎えを引き受けてくれました。吹奏楽部は「ウェルカム演奏」を15分に渡って繰り広げてくれ、明るく伸び伸びとした雰囲気を作り出してくれました。

説明会終了後は体験授業です。全部で14講座を準備しました。総合学科ならではの科目や普通科目も含めての授業で、「画像加工」「実験自然科学」「園芸入門」「書を楽しむ」



りょーくん

「工芸」「演劇表現」「社会福祉基礎」「手話Ⅰ」「ハンブル」「スペイン語」「英会話」「児童文学研究」「数学」「家庭基礎」です。

総合学科の授業の雰囲気を少しでも味わっていただこうと、担当者が工夫をして実施しました。中学生の方、保護者の方に、少しでも総合学科の授業のあり方を理解していただけたなら幸いです。

校長 遠藤 誠